

経営革新研究部会

趣 旨

数年前まで勝ち組だった企業が負け組に転落する、まさに変化の激しい時代。このような環境下で企業が長期的・持続的な発展を実現するためには、経営品質の基本理念にある顧客本位、独自能力、社員重視、社会との調和の4つの要素をベースとした経営品質向上活動が今こそ求められています。

本研究部会は、日本経営品質賞受賞企業、更には日本を代表するエクセレントカンパニーの経営者やリーダーをお招きし、各社の成長を支える仕組みを伺いながら、新たな顧客価値創造に向けた永続して成長できる卓越した経営、組織のあり方について、変革の取り組みや仕掛けの視点などを交えながら研究してまいります。

第1例会

と き 2019年 6月18日(火) 13:30~17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

講演① **「顧客価値創造のための企業戦略」**
(13:35~15:05)
～創発型戦略を実践するインサイトとダイアログ～

講 師 (株)マーケティングプロモーションセンター 代表取締役 **岡 本 正 耿 氏**



視 点 戦略プロセスを分析立案型から創発形成型へと転換しようとする、社員のインサイト能力を高める必要があります。「見る」のは単なる行為ですが、「観察」とは対象に文脈をとらえることです。そして再び、その文脈を発展させるには、創発型の対話プロセスをつくりあげる必要があります。講演①では、マーケティング、経営品質の分野における第一人者である岡本氏より、自組織を変革し続け、顧客価値を創造するための企業戦略についてお話を伺います。

講演② **「人工知能が変える仕事の未来」**
(15:20~16:50)
～AIは何ができて、何ができないのか～

講 師 **メタデータ(株)** 代表取締役社長 **野 村 直 之 氏**



視 点 ここ数年、人工知能の話題が沸騰しています。講演②では、さまざまな人工知能の開発研究に勤しみ、著書に「実践フェーズに突入 最強のAI活用術」、「人工知能が変える仕事の未来」等の著書がある野村氏より、「そもそも何を持って人工知能と称するのか」、「AIは何ができて、何ができないのか」など、お話を伺います。

第2例会

と き 2019年 8月22日(木) 14:00~17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

講 演 **「売上、社員数、取引先数、全て右肩上がりの“鉄工所”」**
(14:00~15:30)
～管理型マネジメントを徹底排除したワクワク感満載の働き方～

講 師 **HILLTOP(株)** 代表取締役副社長 **山 本 昌 作 氏**



コーディネーター

質疑応答 (株)MATコンサルティング 代表取締役社長 **望 月 広 愛 氏**
(15:50~17:00)

視 点 鉄工所なのに「量産ものはやらない」、「ルーティン作業はやらない」、「職人はつくらない」。にもかかわらず、ここ10年、売上、社員数、取引数、全て右肩上がり続けている「HILLTOP」。京都府宇治市に本社があり、東京、アメリカを含めると従業員は約160名。取引先は世界で3000社、全国から入社希望者も殺到。本例会では、「管理型マネジメントを徹底排除したワクワク感満載の働き方」や「新しいこと、面白いことにチャレンジできる風土づくり」など、同社の取り組みについて山本副社長よりお話を伺います。

第3例会

と き 2019年 10月9日(水) 14:00~17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

<受賞企業の経営品質向上活動の進化>

講演
(14:00~15:30)

「進化し続けるサービスの質と生産性の向上」

～変わる勇気、変える勇気を持って挑戦し続ける～



講師

社会福祉法人こうほうえん

理事長 廣江 研氏

(2014年度 日本経営品質賞 大規模部門受賞)

コーディネーター

質疑応答
(15:50~17:00)

(株)マネジментイノベーション

代表取締役 坂本 崇氏

視点

鳥取と東京をベースとし、介護、保育、医療、障害支援の事業を展開する「こうほうえん」。当初 35 名だった職員も 2200 名を越え、事業を拡大しています。2014 年には、顧客視点から経営全体を運営し、自己革新を通じて新しい価値を創造し続ける「卓越した経営の仕組み」を有する企業として介護事業で初めて日本経営品質賞を受賞。本例会では、福祉業界が激変していくなか、さらに進化した経営品質向上活動など、設立以来こだわっている「サービスの質」について廣江理事長よりお話を伺います。

第4例会

と き 2019年 11月11日(月) 14:00~17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

講演

「イノベーションを創出する組織と人づくり」

～脳科学を活用して組織と人のモチベーションを高めるマネジメント～



講師

スリーエムジャパン(株)

執行役員コーポレート・プロモーション
及び品質保証担当

大久保 孝俊氏

視点

数々のイノベーションで広く知られる「3M」において、いくつかのプロジェクトリーダーを努められている大久保氏。本例会では、全売上高の1/3を5年以内の新商品が占めているという「3M」の成長を牽引しているイノベーション創出の工夫や仕掛けをはじめ、人間の本質を理解した上での脳科学を活用した組織と人のモチベーションを高めるマネジメントなど、自身の提唱する具体的実践方法について、参加者からの質問に答えながらお話を伺います。同氏の著書「3Mで学んだニューロマネジメント」を深堀する形で当日の例会を運営いたします。

第5例会

と き 2019年 12月13日(金) 14:00～17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

講演
(14:00～15:30)

「21期連続で増益という磐石経営を支える人材組織開発」

～新商品提案が年間3万件に上るといふイノベティブ企業の取り組み～



講師

小林製薬(株) グループ統括本社 業務改革センター センター長 藤城 克也氏

質疑応答
(15:50～17:00)

コーディネーター

(株)MATコンサルティング 代表取締役社長 望月 広愛氏

視点

「ブルーレットおくだけ」、「消臭元」、「熱さまシート」、「ナイシトール」などユニークかつ覚えやすいネーミングでヒット商品も数多い小林製薬。「あったらいいな」をカタチにする」といふブランドスローガンのもと、世の中になく新しい製品を作り続けています。社員からの新商品提案も年間3万件に上り、創造性の高さがうかがえます。本例会では、同社の人事部門の役職を歴任し、現在はグループ統括本社 業務改革センター長を務める藤城氏より、21期連続で増益という磐石経営を支える人材組織開発への取り組みを中心にお話を伺います。

第6例会

と き 2020年 2月26日(水) 14:00～17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

講演
(14:00～15:30)

「SDGs(持続可能な開発目標)と企業価値向上」

～100年を迎えた企業のたゆまぬ変革と挑戦～



講師

帝人(株) CSR企画推進部部長 大崎 修一氏

質疑応答
(15:50～17:00)

コーディネーター

NPO法人茨城県経営品質協議会 理事 鬼澤 慎人氏

視点

2015年に「国連の持続可能な開発サミット」において、2030年をターゲットとした「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されたことを受け、ESG投資やバリューチェーン全体での環境経営の促進が求められたりするなど、昨今の企業経営を取り巻く状況にも著しい変化が見られています。本例会では、次の中期経営計画(2020年～2022年)はSDGsを軸に作成予定など、SDGsに早くから注目し、「未来の社会を支える会社」になることを目指す帝人の取り組みについて大崎部長よりお話を伺います。

組織力向上セミナー 「いい会社から学ぶいい組織のつくり方」

と き 2019年 7月24日(水) 13:15～16:30

視察会

ところ 井村屋グループ 井村屋(株)(三重県津市)

講演 「強くて、しなやかで、魅力ある会社を目指す特色経営」
～組織と個人の能力を向上させる取り組み～



講師 井村屋(株) 代表取締役会長 浅田 剛夫氏
(2018年度 日本経営品質賞 経営革新推進賞受賞)

コーディネーター
質疑応答 ビジナリーワークス 代表 森部 一彦氏

視点 三重県津市に本社を置く菓子メーカーの井村屋。創業から120年を越え、商品の多くに「あずき」を原料として用いています。「経営品質向上活動」には2014年から取り組み、2016年度に「三重県経営品質賞 知事賞」を受賞。2018年度には、SNS(会員制交流サイト)を活用して消費者ニーズを調査し、商品づくりに生かす人材育成などを通じた独自価値創造への取り組みなどが評価され、「日本経営品質賞 本賞」に次ぐ「経営革新推進賞」を受賞しています。本セミナーでは、人と人の繋がりを重視し、良い“おせっかい”をお互いにし合う風土づくりで、組織と個人の能力を向上させる取り組みについて、浅田会長よりお話を伺います。

2019年度 中部経営革新フォーラム 「いい会社をつくりましょう」

と き 2020年 3月17日(火) 13:00～17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

【予定】

2019年度に日本経営品質賞を受賞された会社の経営者と、それを職場で推進されたリーダーの方をお招きし、様々な取り組みについての実践的なお話を伺います。加えて、経営品質活動の専門家のコーディネートのもと、顧客価値を創造する「いい会社」とは何かについてヒントを探りつつ、深掘りして参ります。



日本経営品質賞とは

日本経営品質賞は、わが国企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織の表彰を目的として、(公財)日本生産性本部が1995年12月に創設した表彰制度です。これまでの23年間に275組織が申請し、本年度の受賞組織を含めてこれまでに45組織が受賞しております。

開催要領

と き

2019年 6月18日(火)～2020年 3月17日(火) (年間8回)

対 象

経営トップ、役員、経営・組織改革のリーダー (業種・業態・規模は問いません)

年間登録費

一般財団法人中部生産性本部 会員組織 …… 108,000円
 経営品質協議会 会員組織 …… 108,000円
(経営品質協議会とは経営品質協議会(東京)並びに各地域経営品質協議会を指します)
 一 般 組 織 …… 162,000円

1組織2名登録
資料代・消費税8%含む。
 但し、視察会費用を除く。

※経営品質研究部会にご登録いただきますと、同時に中部経営品質協議会の会員資格を有します。

- 年間登録費は、お申込み後に送付いたします請求書をご利用の上 6月17日(月)までに指定銀行へお振込み願います。なお、お支払いの際に発生します銀行へ支払う振込手数料は、お客様にてご負担願います。
(登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構です。その際は申込書に振込日の記載をお願いいたします。)
- お申込み取消は 6月11日(火)までをお願いいたします。6月12日(水)以降は登録費の払戻しをいたしかねますのでご了承ください。

中小企業限定 新規ご登録キャンペーンを実施中!

	通常価格 (年間登録費)	特別価格 (年間登録費)
中部生産性本部・経営品質協議会会員組織	108,000円(消費税込)	54,000円(消費税込)
一 般 組 織	162,000円(消費税込)	81,000円(消費税込)

ご登録初年度に限り半額

適用範囲 「中小企業基本法第2条」に則った範囲といたします。
 ・製造業：従業員300人以下又は資本金3億円以下
 ・卸売業：従業員100人以下又は資本金1億円以下
 ・小売業：従業員50人以下又は資本金5,000万円以下
 ・サービス業：従業員100人以下又は資本金5,000万円以下

振 込 先

口座名義：一般財団法人 中部生産性本部

【振込先銀行・口座番号 (順不同)】

三菱UFJ銀行鶴舞支店 普通No. 1603808	東海労働金庫本店営業部 当座No. 513
愛知銀行本店営業部 当座No. 2652	中京銀行本店営業部 当座No. 112404
名古屋銀行上前津支店 当座No. 3116132	りそな銀行名古屋支店 当座No. 494096
大垣共立銀行名古屋支店 普通No. 913545	岡崎信用金庫名古屋支店 普通No. 9034377

運 営 方 法

- 当研究部会にご登録組織におけるメンバー制にて運営いたします。各会とも原則として現地集合、現地解散といたします。
- 各会の詳細は、開催の約1ヶ月前にEメールまたは郵送でご案内いたします。
- 各例会への出席は2名まで可能です。(代理出席可)
- 講師等の都合により、日程・時間・内容の変更及び参加の制限をさせていただく場合がございます。ご了承願います。
- 視察会形式の「組織力向上セミナー」は別途実費をいただく場合がございます。
- 撮影・録画・録音はお断りいたします。

申込締切日

2019年 6月11日(火)

個人情報の取り扱い

- 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<https://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
- お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
- 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
- 本案内記載事項の無断転載をお断りします。
 個人情報に関する問い合わせ窓口 担当 齋藤・岩本 TEL052-221-1261

お申込み・問合せ先

一般財団法人 **中部生産性本部** 《<https://www.cpc.or.jp/cpc/>》

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階
 TEL (052) 221-1261 FAX (052) 221-1265

●担当 / 大澤・中川

FAX 052-221-1265
TEL 052-221-1261
一般財団法人 中部生産性本部 行

2019年度 経営革新研究部会 登録申込書

2019年 月 日

昨年度登録されている場合、この申込書の送付は不要です。

年間登録費請求書は第1登録者宛にご送付申し上げます。
また、ご記入の第1・第2の順にて登録者名簿に掲載いたしますのでご了承ください。

フリガナ	
組織名	

第1登録者	フリガナ		所属部署 役職名	
	氏名			
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				

第2登録者	フリガナ		所属部署 役職名	
	氏名			
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				

申込み後の受取請求書にて振込み 事前振込み (請求書不要) 月 日 振込予定
※ いずれかに✓をおつけ下さい。

備考欄

事務局記入

54,000円・81,000円・108,000円・162,000円 (消費税込み) 請求 / No 102019

2019年度 研究部会紹介

13のテーマ・分野別の「集い・学び・語り合う」ネットワーク

研究部会は先進企業の事例発表や専門家からの講演を中心に開催し、研究部会によっては視察会や参加者交流の場を設けています。“年間登録形式”（年間5～6例会開催）で運営しています。代理参加も可能であり、内容・テーマに合わせて参加者を人選いただける運営スタイルが特長です。

人事労務問題研究部会

働き方改革法施行への実務対応の進化
～テレワークの推進やRPAの活用の視点を交え～

少子高齢社会など労働・社会情勢の激動の変化を視野に、人事労務面の直近の課題と将来的な課題を織り交ぜ、企業の先進事例と、専門家の講演を通して情報提供を行います。

労使実務研究部会

新たな成長に向けた労使の対応力向上
～生き活きと働き続けられる職場づくり～

労使が抱える課題について企業事例や、専門家からの問題提起及び解決の方向性について実務的な視点から情報提供を行います。

流通労使研究部会

価値づくり・組織づくり・人づくり
～人手不足を乗り越え、独自性を追求して進化する～

人づくりをはじめとした労使共通の課題や業界動向など、幅広いテーマを取り上げつつ、現場見学会も交え、中部地区流通・サービス業の組織活性化に向けた研究・交流を図ります。

人材育成研究部会

企業の更なる進化を支える人材育成
～育つ側、育てる側が共に成長する効果的な育成～

企業競争力、企業活性化の源泉である「人づくり」について、人材開発の仕組みや風土づくりも視野に入れつつ、先進企業事例を中心に情報提供、意見交流を行います。

生きがい・働きがい研究部会

組織が活性化する“働きがい”向上策
～人を大切にする経営で好循環を生み出す～

“働きがい”がESの向上に繋がり、仕事の生産性や企業業績の向上に貢献する要因と考えられるなか、新たな働きがい向上の仕組みづくりや取組みについて研究を図ります。

労働組合実践活動研究部会

明日の労働組合活動を考える
～働き方や価値観の多様化が進む中で～

働き方や価値観の多様化が進み、それぞれのニーズに対応した労働組合活動が求められているなかで、先進労組を訪問し今後の労働組合活動について研究交流を図ります。

秘書・総務研究部会 (なごや会)

秘書・総務に期待される知識と応用力の向上
～組織を越えた人間関係づくり～

秘書・総務業務において、業務を円滑に進めるために必要とされる具体的な手法や幅広い情報提供を行うとともに、メンバーの親睦、交流を通じ、ネットワークづくりの促進を図ります。

企業法務研究部会

法務リスクへの実務対応
～企業価値を高める法務部門の役割～

企業活動に関わる法律の改正についての情報提供を行うとともに、コンプライアンス体制づくりを含めた企業価値の向上について法務部門の視点から研究を図ります。

独禁法研究部会

重要性が増す独禁法の最新情報を収集
～知らなかったでは許されない～

独禁法と競争政策について、公正取引委員会担当官による解説と弁護士からの情報提供を通じて、独禁法の理解とその対応について研究を図ります。

企業広報研究部会

企業価値を高める広報活動
～多様化する広報部門の役割と今後の課題～

マスコミ（新聞社等）とのコミュニケーションを促す場であると同時に、メディア環境等が変化するなかでの企業広報のあり方について具体的事例の紹介を通じて研究交流を図ります。

物流管理研究部会

多様化・高度化する物流
～企業成長の鍵を握るロジスティクスの可能性～

物流品質・お客様満足向上を基本にしつつ、環境、効率化、グローバル化などに対応した物流体制の構築について研究するとともに、荷主企業と物流事業者との交流を図ります。

人と組織の持続的成長を実現する 経営革新研究部会

新たな顧客価値創造に向けた弛まぬ自己革新

他社が追従できないような独自能力や組織力を戦略的に高めていくために、先進企業の様々な変革の取り組みを伺いながら経営品質の視点から研究を図ります。

管理間接部門の業務改善・改革研究部会

生産性の高い業務実現のポイント
～改善リーダーの資質向上とネットワークづくり～

欧米諸国と比べて低いと言われる日本企業のホワイトカラーの生産性向上にいかに取り組みべきか、専門家の講演・先進企業の事例発表に意見交換会を交え、研究交流を図ります。